別表第三号　標準方式第５章第３節及び第６章第５節に規定するデジタル放送に関するＴＭＣＣ情報の構成



注１　変更指示は、ＴＭＣＣ情報の内容に変更が生じるごとに１ずつ加算されるものとし、その値が‘ 11111111 ’となった場合は、‘ 00000000 ’に戻るものとする。

２　伝送モード／スロット情報は、伝送主信号の変調方式、誤り訂正内符号化の符号化率、衛星出力バックオフ及び割当てスロット数を示すものとし、その構成は別記第１に示すとおりとする。

３　ストリーム種別／相対ストリーム情報は、相対ストリーム番号とストリームの種別の対応関係を示す領域とし、その構成は別記第２に示すとおりとする。

４　パケット形式／相対ストリーム情報は、相対ストリーム番号とパケットの形式の対応関係を示すものとし、その構成は別記第３に示すとおりとする。

５　ポインタ／スロット情報は、スロットに格納される最初のパケットの先頭の位置と最後のパケットの末尾の位置を示すものとし、その構成は別記第４に示すとおりとする。

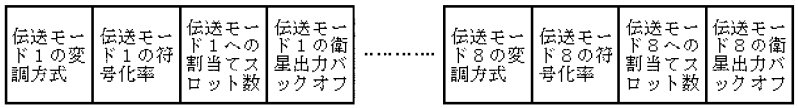
６　相対ストリーム／スロット情報は、スロットと相対ストリーム番号の対応関係を示すものとし、その構成は別記第５に示すとおりとする。

７　相対ストリーム／伝送ストリームＩＤ対応表は、相対ストリーム番号とトランスポートストリーム識別子（ストリーム種別がＭＰＥＧ－２　ＴＳの場合に限る。）又はＴＬＶストリーム識別子（ストリーム種別がＴＬＶの場合に限る。）との対応関係を示すものとし、その構成は別記第６に示すとおりとする。

８　送受信制御情報は、緊急警報放送における受信機の起動制御のための信号及びアップリンク制御情報を伝送するものとし、その構成は別記第７に示すとおりとする。

９　拡張情報の構成は別記第８に示すとおりとする。

別記第１　伝送モード／スロット情報の構成



注１　変調方式の位相数が高いもの（変調方式が同じ場合は誤り訂正内符号の符号化率が高いもの）から順に伝送モード１から伝送モード８までに割り当てることとする。

２　使用する変調方式、誤り訂正内符号の符号化率及び衛星出力バックオフの組み合わせが８に満たない場合には、割当てのない伝送モードの変調方式を‘ 1111 ’、符号化率を‘ 1111 ’、割当てスロット数を‘ 00000000 ’、衛星出力バックオフを‘ 00000000 ’とする。

３　伝送モードの変調方式は、当該伝送モードに割り当てられる変調方式を伝送する領域とし、その割当ては次表に示すとおりとする。

値	割当て
0000	未定義
0001	π／２シフトＢＰＳＫ
0010	ＱＰＳＫ
0011	８ＰＳＫ
0100～1110	未定義
1111	割当て方式なし

４　伝送モードの符号化率は、当該伝送モードに割り当てられる符号化率を伝送する領域とし、その割当ては次表に示すとおりとする。

値	割当て
0000	未定義
0001	41／120
0010	49／120
0011	61／120
0100	73／120
0101	81／120
0110	89／120
0111	97／120
1000	101／120
1001	105／120
1010	109／120
1011～1110	未定義
1111	割当て方式なし

５　伝送モードの衛星出力バックオフは、当該伝送モードに割り当てられる衛星出力バックオフを伝送する領域とし、その割当ては次表に示すとおりとする。

値	割当て
00000000	0.0dB
00000001	0.1dB
00000010	0.2dB
……	……
11111101	25.3dB
11111110	25.4dB
11111111	25.5dB